

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

# しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2011年度 Vol.3

## みどりと花のフェスティバル

「みどりと花のフェスティバル」がさわやかな秋空の下で開催され、さまざまなイベントが参加した人を楽しませてくれました。

### ●10月8日(土)、9日(日) しながわ区民公園

よく晴れ渡ったさわやかな秋晴れの下で、多くの親子連れなどが楽しい1日を過ごしました。

しながわ区民公園にはとち、しい、くぬぎなど多くの種類のどんぐりがあり、どんぐりと切り株は自由に持ち帰ることができました。また会場ではそれらを使った工作に人気がありました。



### ●10月15日(土)、16日(日) 戸越公園

16日の東京の最高気温は30℃近くにもなり、秋とは思えないほどの暑さを感じる日でした。まぶしいほどの太陽に公園の木々や草花が輝いていました。

園内で育てた植木や草花がもらえるコーナーには来場者が列を作っていました。また植木、土、肥料の販売や盆栽、山野草の展示コー



ナーもあり、たくさんの方が見入っていました。肥料は業務用の特別配合品が販売され、便利に使いそうでした。会場には屋台が並び、

椅子とテーブルもあって休憩や簡単な食事が出来るようになっており、好天の下で自然に親しみながら環境を考える良い機会となりました。



### ●10月22日(土)、23日(日) 東品川海上公園

いろいろな楽しいコーナーがあり、来場者は思い思いのコーナーに参加していました。

#### 【ミッフィーの押し花作り】

ミッフィーなどを描いた台紙に公園の花で作った押し花を貼りました。

#### 【ポプリ作り】

ハーブや香辛料などを使って手軽にできるオシャレなポプリを作りました。



#### 【植物クラフト作り】



公園のどんぐり、剪定枝、葉っぱなどを使ったクラフト作りや、ススキを使ったフクロウ作りを体験しました。

#### 【ステンシルでオリジナルカード作り】

プラスチックの薄い板に簡単なイラストの形がくりぬかれています(ステンシル)。白いカードにこのステンシルを当て、くりぬかれている部分に絵具を塗ると、ほら楽しい絵が描けました。これは飛行機の絵ですね。



〈東品川海上公園のつづき〉

### 【富山からのアイスチューリップ】

球根を冷蔵保存することで開花時期をずらし、一年中いつでもチューリップを咲かせることができるそうです。公園内では紅葉と一緒に楽しめそうでした。



寄せ植えやガーデニングの紹介、苗・球根の販売、絵本や紙芝居などのコーナーがあり、参加者は東品川海上公園でのひとときを楽しんでいました。



絵に描いたようなアイスチューリップ

### ● 10月29日(土)、30日(日) 西大井広場公園

広いグラウンドでは工作、寄せ植え、ミニ動物園、植木の販売、休憩所などのコーナーがありました。

工作コーナーでは園内で折れた枝などを輪切りにしたものやどんぐりに色を付けたり、ポンドで貼ったりして思い思いの作品を作り上げていました。



ミニ動物園のコーナーでは、動物にさわったり抱っこするなどして、命の大切さを学ぶ良い機会だったと思いました。



品川区内の公園で行われたこれらのフェスティバルでは、緑と花に親しみながらいろいろなイベントが体験でき、かつ環境も考えられる楽しい機会です。次回(来春)はぜひ参加してみませんか!

## お正月を彩る植物 (センリョウ、マンリョウ)

松竹梅はどっしりと厳かに新年を飾ります。新たな年を祝う縁起物として、ほかに赤い実のなるものがあります。それらをご紹介します。

寄せ植えにヤブコウジ、生け花ではセンリョウ、植え込みにはマンリョウ、ほかに同じような風情の赤い実にカラタチバナやアリドオシがあります。昔はこれらを十両、千両、万両、百両、一両などと俗に呼んでいました。この段階的表現は、木の大きさや付く実の量、命名の由来や状態を表わしています。

つまり十両(ヤブコウジ)は百両(カラタチバナ)より小さく、万両は葉の下に垂れさがる実が千両より重いと発想したのです。アリドオシは一両といいながら、十両のヤブコウジより木は大きくなります。鋭いとげはマイナス要因、しかし格下げしてでも「有」という良い名を根拠に、赤い実の仲間に入れたのでしょう。

センリョウとマンリョウの違いは、実が上部につくのがセンリョウ(写真左)、マンリョウ(写真右)は葉の下につくので鳥に食べられにくいといえます。



他の木の実、ピラカンサやムラサキシキブなどが年の暮れには無くなってしまいう中、確かにマンリョウだけは立春を過ぎて実があります。鳥の落とし物から毎年芽生え、20年経過したものは1.5メートルを超えました。

シロミノマンリョウの実は白いために「熟していない=食べられない」と鳥に認識されるのでしよう、一年経った今でもまだ残っています。

お正月に活けたセンリョウの実をまきました。

春に発芽し、なんと3年目に花が咲き、実が付きました。実付きが悪いと言われるのは梅雨のころ花が咲いたため、花粉が雨に流されてしまうのです。栽培地では雨よけのため、覆いをすると言いましたが、野外で自生を見ることがまれです。植木鉢で栽培は可能です。ぜひお試しください。

アリドオシはアカネ科、センリョウはセンリョウ科、ほかの3種はヤブコウジ科です。科が同じということは花の形が似ているということです。意外に思われるかもしれませんが、ヒトリシズカはセンリョウの仲間です。花の時期に観察してみましょう。

(環境カウンセラー 倉田智子氏提供)

# 環境記者活躍中

## 環境記者情報交換会

平成23年11月17日(木)、第16回環境記者情報交換会が8名の環境記者の出席のもとで行われました。今回は従来にも増して幅広い内容での意見交換が行われ、改めて環境をテーマとした問題の広さ、奥深さについて考えさせられました。

第一京浜国道沿いに植えた花の管理をボランティアで行っている真壁さん。五反田駅周辺を綺麗にしている方がお二人で、福田さんは大学の仲間や地域の方たちと一緒に、畔柳さんは個人で歩道のごみ拾いをしています。志賀さんは平塚二丁目町会の副会長兼花と緑の部長として活躍、街の美化に努めています。



企業で環境活動全般の業務に携わっている小野さんは区内の公園を綺麗にしています。また企業内で省エネに知恵を絞っている辻本さん。若井田さんは区の青少年委員としても活躍しています。福島県に農場を持ち、放射能被害を受けている新居崎さんの深刻なお話もありました。みなさんの日々の活動が街の環境維持や改善の力になっていると思います。



## 神社やお寺でイチョウを見ることが多いと思いませんか？



それには理由があります。

イチョウが日本に植えられるようになったのは平安後期から鎌倉時代、中国からお坊さんが持ち込んだものとされています。植えた後、実がなるまでに孫の代までかかるという意味で「公孫樹」とも呼ばれます。長生きする木なので縁起が良いとされ、また大きくなるのが早く立派に見えることも、神社やお寺にふさわしいのでしょう。さらに葉っぱには水分が多いため、火事の延焼を防ぐ目的で境内に植えられたようです。

「鴨脚樹」という名前もあり、これは葉の形をカモの足に見立てたものです。「ヤーチャオ」と読み、これが訛って「イチョウ」になったといわれています。

街路樹にイチョウ並木が多いのは大気汚染に強いからです。

## 五反田駅周辺を綺麗にしています

‘五反田綺麗にし隊’は清泉女子大学の学生が五反田駅周辺を綺麗にしようと集まった仲間で、五反田商店会の皆さんとともに定期的に清掃活動を行っています。この活動の目的は街を綺麗にすることはもちろんですが、街の人たちに挨拶をしてこの活動をアピールすることです。

花壇にはまたお花が咲きました。そしてタクシー乗り場周辺に多かったタバコの吸い殻が1年前よりも少なくなってきたことを実感できたことは嬉しいことです。



でもまだまだ改善されない問題も多いです。タクシー乗り場周辺の植え込みにはペットボトルや缶・ビン類、お弁当のゴミなどが目につきます。

私たちの活動が少しでも五反田駅周辺の美化につながってくれたらうれしいなと思っています。



区内では品川寺や光福寺などのイチョウが区指定文化財に認定されています。



品川寺



光福寺

# 品川区環境情報活動センター 冬の講座ご案内

## ●鉄道の開業と品川（中学生以上）

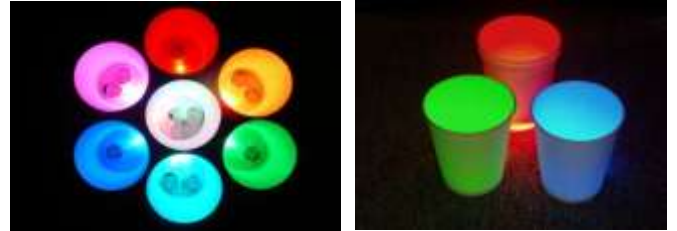


明治5年、新橋・横浜間に鉄道が開通しました。それに伴い鉄道周辺や品川宿に住む人々の生活環境が大きく変化しました。

日時／2月4日(土)14時～16時

講師／中野光将（品川歴史館学芸員）

## ●‘光のジュース’で遊ぼう！（小学生）



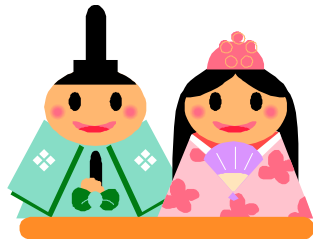
赤緑青3色のLED（発光ダイオード）を使って、光と色の不思議を探検します。紙コップに入れた3色のLEDはまるで‘光のジュース’のようです。この‘光のジュース’を使って、光の合成実験を行います。

日時／2月26日(日)13時半～15時半

講師／久保利加子

（科学技術振興機構・理科大好きボランティア講師）

## ●古帯でおひなさまを作ろう（中学生以上）



不要になった帯や着物を再利用して可愛らしいひな人形を作ります。

日時／2月12日(日)14時～16時

講師／竹中信子（アートディレクター）

## ●春の寄せ植え（一般）



サギ草にベニチガヤを添えて寄せ植えをします。7～8月頃に開花予定の夏の花ですので、講習会後に花の観賞をお楽しみいただけます。

日時／3月9日(金)13時半～15時半

講師／秋草会会員

## ●春のこども環境講座（小学生）

### 気象予報士から学ぼう～天気不思議と環境～



天気不思議と環境について、実験をしながら楽しく学びます。

日時／3月17日(土)ワタで雲の図鑑を作ろう

3月18日(日)雨量計を作ろう

3月20日(祝)霜柱実験器を作ろう

各回とも14時～16時

講師／気象予報士（気象キャスターネットワーク）

講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

### しながわECOだより2011年度Vol.3

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成23年12月15日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています